

Title	荒川正晴教授 著述目録
Author(s)	
Citation	内陸アジア言語の研究. 2015, 30, p. 273-284
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/70122">https://hdl.handle.net/11094/70122</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 荒川正晴教授 著述目録 (1982～2014)

Publications of Masaharu ARAKAWA

(\*は共著・共編を示す)

### I. 著書・編著

**2003**

01. 『オアシス国家とキャラヴァン交易』(世界史リブレット 62) 東京, 山川出版社, 2003年12月, 82p.

**2010**

02. 『ユーラシアの交通・交易と唐帝国』名古屋, 名古屋大学出版会, 2010年12月, 630p.

**2014**

03. \* 大阪大学歴史教育研究会 (編) 『市民のための世界史』吹田, 大阪大学出版会, 2014年4月, 311p.

### II. 研究論文・概説論文

**1982**

01. 「唐代敦煌に於ける糶買について——ペリオ三三四八号文書を中心として——」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』別冊 8, 1982年3月, pp. 191-200.

**1983**

02. 「麹氏高昌国の官制について」『史観』109, 1983年9月, pp. 29-43.

**1986**

03. 「麹氏高昌国における郡県制の性格をめぐって——主としてトゥルフアン出土資料による——」『史学雑誌』95-3, 1986年3月, pp. 37-74.

04. 「唐代河西の吐谷渾と墨離」『内陸アジア史研究』3, 1986年3月, pp. 50-62.

1988

05. 「唐の中央アジア支配と墨離の吐谷渾（上）——トゥルフアン・アスターナ出土の豆盧軍牒の検討を中心として——」『史滴』9, 1988年1月, pp. 25-48.

1989

06. 「唐の中央アジア支配と墨離の吐谷渾（下）——主に墨離軍の性格をめぐって——」『史滴』10, 1989年1月, pp. 19-42.
07. 「唐河西以西の伝馬坊と長行坊」『東洋学報』70-3/4, 1989年3月, pp. 35-69.
08. 「麹氏高昌国の遠行車牛について（1）・（2）——「高昌某年伝始昌等県車牛子名及給価文書」の検討を中心にして——」『吐魯番出土文物研究会会報』16, 1989年7月, pp. 77-80; 17, 1989年7月, pp. 86-88.

1990

09. 「トゥルフアン出土「麹氏高昌国時代ソグド文女奴隷売買文書」の理解をめぐって」『内陸アジア言語の研究』5, 1990年3月, pp. 137-153.
10. 「スタイン将来「蒲昌群文書」の検討——Ast.III.3.07, 08, 037号文書の分析を中心にして——」『西北史地』1990-2, 1990年6月, pp. 23-34.  
〔中文訳〕「関于斯坦因《蒲昌群文書》的研究——以 Ast.III.3.07, 08, 037号文書の分析為中心——」『西北史地』1990-2, 1990年6月, pp. 35-44.（谷祖綱／李桂蘭訳）
11. 「西域出土文書に見える函馬について（上）・（下）」『吐魯番出土文物研究会会報』40, 1990年7月, pp. 215-218; 41, 1990年7月, pp. 219-223.

1992

12. 「唐の対西域布帛輸送と客商の活動について」『東洋学報』73-3/4, 1992年3月, pp. 31-63.  
〔中文訳〕「唐政府对西域布帛的運送及客商的活動」『敦煌学輯刊』1993-2, 1993年12月, pp. 108-118.（王忻訳, 李明偉校）  
〔中文訳〕「関于唐向西域輸送布帛与客商的关系」『魏晋南北朝隋唐史資料』16, 1998年7月, pp. 342-353.（葉勝奎訳, 李少軍校）
13. 「唐代駅伝制度の構造とその運用（I～V・完）」『吐魯番出土文物研究会会報』79, 1992年8月, pp. 1-4; 80, 1992年9月, pp. 1-8; 81, 1992年10月, pp. 1-8; 82, 1992年11月, pp. 1-5; 83, 1992年12月, pp. 1-6.

## 1993

14. 「中央アジア地域における唐の交通運用について」『東洋史研究』52-2, 1993年9月, pp. 23-51.

## 1994

15. 「トゥルファンの棉布生産とその流通」長澤和俊(編)『アジアにおける国際交流と地域文化』(平成4・5年度科学研究費補助金・総合研究(A)研究成果報告書)東京, 早稲田大学, 1994年3月, pp. 56-59.
16. 「トゥルファン出土漢文文書に見える ulay について」『内陸アジア言語の研究』9, 1994年6月, pp. 1-25.  
〔中文訳〕「關於吐魯番出土漢文文書中的 ulay」胡厚宣等(編)『出土文獻研究』3, 北京, 中華書局, 1998年10月, pp. 198-211. (李德範/孫曉林訳)
17. 「唐代コータン地域の ulay について——マザル=ターク出土, ulay 関係文書の分析を中心にして——」『龍谷史壇』103/104, 1994年12月, pp. 17-38.  
〔中文訳〕「唐代于闐的“烏駱”——以 tagh 麻扎出土有関文書の分析為中心——」『西域研究』1995-1, 1995年3月, pp. 66-76. (章瑩訳)

## 1995

18. 「北庭都護府の輪台県と長行坊——アスターナ五〇六号墓出土, 長行坊関係文書の検討を中心として——」小田義久先生還暦記念事業会(編)『小田義久博士還暦記念東洋史論集』京都, 龍谷大学東洋史学研究会, 1995年7月, pp. 93-125.  
〔中文訳〕「北庭都護府的輪台県和西州長行坊——以対阿斯塔那五〇六号墓所出与長行坊有関文書の討論為中心——」『吐魯番学研究』2006-1, 2006年6月, pp. 132-148. (尹磊訳, 于志勇校)

## 1997

19. 「クチャ出土「孔目司文書」攷」『古代文化』49-3, 1997年3月, pp. 1-18, 2pls.
20. 「唐代トゥルファン高昌城周辺の水利開発と非漢人住民」森安孝夫(編)『近世・近代中国および周辺地域における諸民族の移動と地域開発』(平成7・8年度科学研究費補助金・基盤研究(B)(2)研究成果報告書)豊中, 大阪大学, 1997年3月, pp. 49-64.
21. 「唐の州県百姓と過所の発給——唐代過所・公驗文書割記(1)——」『史観』137, 1997年9月, pp. 4-18.
22. 「唐帝国とソグド人の交易活動」『東洋史研究』56-3, 1997年12月, pp. 171-204.  
〔中文訳〕「唐帝国和粟特人的交易活動」『敦煌研究』2002-3, 2002年6月, pp. 81-91. (陳海濤訳, 楊富学校)

## 1998

23. 「北朝隋・唐代における「薩寶」の性格をめぐって」『東洋史苑』50/51, 1998年1月, pp. 164-186.

## 1999

24. 「ソグド人の移住聚落と東方交易活動」樺山紘一他(編)『岩波講座世界歴史 15 商人と市場』東京, 岩波書店, 1999年3月, pp. 81-103.

## 2000

25. 「唐朝の交通システム」『大阪大学大学院文学研究科紀要』40, 2000年3月, pp. 199-331.
26. 「ヤールホト古墓群新出の墓表・墓誌をめぐって」『シルクロード学研究紀要』10, 2000年11月, pp. 160-170.

## 2002

27. 「魏晋南北朝隋唐期の通過公証制度と商人の移動」中国史学会(編)『中国の歴史世界——統合のシステムと多元的發展——』東京, 東京都立大学出版社, 2002年2月, pp. 337-349.
28. “The Transit Permit System of the Tang Empire and the Passage of Merchants.” *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 59, 2002/3, pp. 1-21.  
〔中文訳〕「唐過所与貿易通道」『吐魯番学研究』2005-1, 2005年, pp. 40-49. (歐陽暉訳, 朱新校)
29. 「長行馬文書攷——大英図書館所蔵文書を中心として——」池田温(編)『日中律令制の諸相』東京, 東方書店, 2002年3月, pp. 379-405.

## 2004

30. 「トゥルフアン漢人の冥界観と仏教信仰」森安孝夫(編)『中央アジア出土文物論叢』京都, 朋友書店, 2004年3月, pp. 111-126.
31. 「道路・国家与商人」『読書』2004-7, 2004年7月, pp. 160-165.
32. 「唐代前半の胡漢商人と帛練の流通」『唐代史研究』7, 2004年8月, pp. 17-59.
33. “Passports to the Other World : Transformations of Religious Beliefs among the Chinese in Turfan (Fourth to Eighth Centuries).” D. Durkin-Meisterernst, S. Raschmann, J. Wilkens, M. Yaldiz & P. Zieme (eds.), *Turfan Revisited -The First Century of Research into the Arts and Cultures of the Silk Road*, Berlin: Dietrich Reimer Verlag, 2004, pp. 19-21, 1pl.

## 2005

34. 「唐代粟特商人与汉族商人」『粟特人在中国——歴史・考古・語言の新探索——』（法国汉学 10）北京，中華書局，2005 年 12 月，pp. 101-109.
35. “Sogdian merchants and Chinese Han merchants during the Tang Dynasty.” In: É. de la Vaissière and É. Trombert (eds.), *Les Sogdiens en Chine*, Paris: École française d’Extrême-Orient, 2005, pp. 231-242.

## 2006

36. 「北朝隋唐初の在俗仏教信徒と五道大神」加地伸行博士古稀記念論集刊行会（編）『中国学の十字路——加地伸行博士古稀記念論集——』東京，研文出版，2006 年 4 月，pp. 509-523.

## 2007

37. 「遊牧民とオアシス民の共生関係とは何か——西突厥と麴氏高昌国のケースから——」桃木至朗（編）『近代世界システム以前の諸地域システムと広域ネットワーク』（平成 16～18 年度科学研究費補助金・基盤研究（B）研究成果報告書）豊中，大阪大学，2007 年 3 月，pp. 28-48.
38. 「麴氏高昌国の王権とソグド人」記念論集刊行会（編）『福井重雅先生古稀・退職記念論集 古代東アジアの社会と文化』東京，汲古書院，2007 年 3 月，pp. 337-362.

## 2008

39. “Sogdians and the Royal House of Ch’ü in the Kao-ch’ang Kingdom.” *Acta Asiatica (Bulletin of the Institute of Eastern Culture)* 94, 2008/2, pp. 67-93.
40. 「遊牧国家とオアシス国家の共生関係——西突厥と麴氏高昌国のケースから——」『東洋史研究』67-2, 2008 年 9 月，pp. 34-68.

## 2009

41. 「唐代中央アジアにおける帖式文書の性格をめぐって」土肥義和（編）『敦煌・吐魯番出土漢文文書の新研究』東京，東洋文庫，2009 年 3 月，pp. 271-291.
42. 「麴氏高昌国の灌漑水利と税役」『西北出土文献研究』7，2009 年 3 月，pp. 19-41.

## 2011

43. “Aspects of Sogdian Trading Activities under the Western Turkic State and the Tang Empire.” *Journal of Central Eurasian Studies* 2, 2011/5, pp. 25-40.
44. 「唐代の交通と商人の交易活動」鈴木靖民／荒井秀規（編）『古代東アジアの道路と交通』東京，勉誠出版，2011 年 7 月，pp. 179-190.

45. 「唐の西北軍事支配と敦煌社会」『唐代史研究』14, 2011年8月, pp. 71-98.
46. 「唐代天山東部州府の典とソグド人」森安孝夫(編)『ソグドからウイグルへ——シルクロード東部の民族と文化の交流——』東京, 汲古書院, 2011年12月, pp. 47-66.  
〔中文訳〕「唐代天山東部州府の典と粟特人」中国人民大学国学院(主編)『国学的伝承と創新——馮其庸先生從事教學與科研六十周年慶賀學術文集——』下冊, 上海, 上海古籍出版社, 2013年4月, pp. 952-966.
47. 「英国図書館蔵和田出土木簡の再研究——以木簡内容及其性質為中心——」朱玉麒(主編)『西域文史』6, 北京, 科学出版社, 2011年12月, pp. 35-47. (田衛衛訳, 西村陽子/榮新江校)

### 2013

48. “The Transportation of Tax Textiles to the North-West as part of the Tang-Dynasty Military Shipment System.” *Journal of the Royal Asiatic Society* 23-2, 2013/4, pp. 245-261.

### 2014

49. 「トゥルファンにおけるソグド人」森部豊(編)『ソグド人と東ユーラシアの文化交渉』(アジア遊学 175) 東京, 勉誠出版, 2014年8月, pp. 101-118.
50. 「西域長史文書としての「李柏文書」」白須淨眞(編)『大谷光瑞とスヴェン・ヘデイン——内陸アジア探検と国際政治社会——』東京, 勉誠出版, 2014年9月, pp. 213-234.
51. 「大英図書館所蔵コートン出土木簡の再検討——木簡内容とその性格をめぐって——」『待兼山論叢』(史学篇) 48, 2014年12月, pp. 1-22.

## III. 雜纂 (研究ノート・調査報告・書評・紹介・翻訳・学界動向など)

### 1983

01. \*山本弘道/荒川正晴「文献案内」加藤九祚/長澤和俊/護雅夫『シルクロード』(読書マップ) 東京, 筑摩書房, 1983年7月, pp. 297-346.

### 1986

02. [書評]「玉木重輝著『高昌国物語』」『東西交渉』17, 1986年3月, p. 51.
03. [書評]「鄧健吾著『敦煌行』」『東西交渉』19, 1986年9月, p. 42.

## 1989

04. 「阿斯塔那古墳群墳墓一覽表」『吐魯番出土文物研究会會報』8, 1989年3月, pp. 35-40; 9, 1989年3月, pp. 41-44; 10, 1989年4月, pp. 45-48.
05. 「哈拉和卓古墳群墳墓一覽表」『吐魯番出土文物研究会會報』11, 1989年4月, pp. 49-52.
06. 〔学界動向〕「1988年の歴史学界——回顧と展望——（内陸アジア1）」『史学雑誌』98-5, 1989年5月, pp. 269-275.
07. 〔紹介〕「候燦「高昌章和十三年朱阿定妻楊氏墓表出土時間・地点与有関問題補論」」『吐魯番出土文物研究会會報』12, 1989年5月, p. 54.
08. 〔紹介〕「王琳「旅順博物館藏新疆出土錢幣」」『吐魯番出土文物研究会會報』12, 1989年5月, pp. 54-55.
09. 〔紹介〕「陳国燦「武周瓜・沙州地区的吐谷渾婦朝事迹」」『吐魯番出土文物研究会會報』13, 1989年5月, pp. 59-60.
10. 〔紹介〕「呉震「吐魯番出土的“敦煌文書”」」『吐魯番出土文物研究会會報』13, 1989年5月, pp. 60-61.
11. 〔紹介〕「王素「吐魯番所出武周時期吐谷渾婦朝文書史実考証」」『吐魯番出土文物研究会會報』13, 1989年5月, p. 61.
12. 〔紹介〕「周偉洲『吐谷渾史入門』」『吐魯番出土文物研究会會報』13, 1989年5月, pp. 61-62.
13. 〔紹介〕「柳洪亮「安西都護府治西州境内時期的都護及年代考」」『吐魯番出土文物研究会會報』13, 1989年5月, p. 62.
14. 「阿斯塔那古墳群墳墓一覽表——スタイン隊発掘墳墓——」『吐魯番出土文物研究会會報』14, 1989年6月, pp. 65-67.
15. 〔学界動向〕「1988年・日本の吐魯番学瞥見」『吐魯番出土文物研究会會報』15, 1989年6月, pp. 71-74.
16. 「新疆維吾爾自治区古代城址一覽表（I）・（II）——黄文弼の調査報告を中心として——」『吐魯番出土文物研究会會報』26, 1989年12月, pp. 125-130.; 27, 1989年12月, pp. 131-134.

## 1990

17. 「阿斯塔那・哈拉和卓古墳群墳墓一覽表」長澤和俊（編）『中央アジア史の再検討——新出史料の基礎的研究——』（昭和63年度科学研究費補助金・総合研究（A）研究成果報告書）東京, 早稲田大学, 1990年3月, pp. 59-87.  
〔中文訳〕「阿斯塔那・哈拉和卓古墓群墓葬一覽表」『新疆文物』1992-2, 1992年5月, pp. 93-123.（孟憲実訳, 侯燦校）
18. 〔紹介〕「錢伯泉「高昌国郡県城鎮的建置及其地望考実」」『吐魯番出土文物研究会會報』37, 1990年5月, pp. 193-194.



19. 〔紹介〕「陳国燦「魏晉至隋唐河西胡人的聚居与火祆教」『吐魯番出土文物研究会会報』37, 1990年5月, pp. 196-197
20. 「新疆維吾爾自治區古代城址一覽表(Ⅲ)——黃文弼的調查報告を中心に——」『吐魯番出土文物研究会会報』38, 1990年6月, pp. 199-203.
21. 〔紹介〕「程喜霖「烽鋪考」『吐魯番出土文物研究会会報』45, 1990年9月, pp. 246-247.
22. 〔紹介〕「程喜霖「唐開元二十一年(733)西州都督府勘給過所案卷」校釈——兼論請過所程序与勘驗過所——(下篇)」『吐魯番出土文物研究会会報』45, 1990年9月, p. 247.
23. 「古書展に出品された北館文書について」『吐魯番出土文物研究会会報』50, 1990年12月, pp. 276-278

#### 1991

24. 「阿斯塔那・哈拉和卓古墳群墳墓一覽補訂」『吐魯番出土文物研究会会報』53, 1991年1月, pp. 1-4.
25. \*吐魯番出土文物研究会(編)『吐魯番出土文物研究情報集録——吐魯番出土文物研究会会報 1~50号——』(〔中央ユーラシア諸民族の歴史・文化に関する国際共同研究の企画・立案〕№2)(平成2年度科学研究費補助金・総合研究(B)研究成果報告書)東京, 梅村坦発行, 1991年3月, 284p.
26. 〔紹介〕「姜伯勤「敦煌新疆文書所記的唐代“行客”」『吐魯番出土文物研究会会報』66, 1991年8月, pp. 5-6.
27. 〔紹介〕「吳震「唐庭州西海峯之置建与相關問題」『吐魯番出土文物研究会会報』66, 1991年8月, p. 6.
28. 「南疆遺跡參觀報告(1)」『吐魯番出土文物研究会会報』70, 1991年11月, pp. 1-6.

#### 1992

29. 〔紹介〕「錢伯泉「從祀部文書看高昌麴氏王朝時期的祆教及粟特九姓胡人」『吐魯番出土文物研究会会報』78, 1992年7月, p. 6.
30. 〔紹介〕「魯才全「唐代前期西州的馭馬馭田馭牆諸問題——吐魯番所出館馭文書研究之二——」『吐魯番出土文物研究会会報』81, 1992年10月, p. 8.
31. 「南疆遺跡參觀報告」『内陸アジア史研究』7/8, 1992年10月, pp. 10-20.
32. 〔翻譯〕「樓蘭考古の新収獲」『内陸アジア史研究』7/8, 1992年10月, pp. 38-40.
33. 「吐魯番・烏魯木齊周辺地域の史跡について」『内陸アジア史研究』7/8, 1992年10月, pp. 66-93.
34. 〔紹介〕「郭媛「試論隋唐之際吐魯番地区的銀錢」, 林友華「從四世紀到七世紀中高昌貨幣形態初探」, 宋傑「吐魯番文書所反映的高昌物價与貨幣問題」『吐魯番出土文物研究会会報』83, 1992年12月, pp. 6-8.

## 1993

35. [紹介]「王永興「吐魯番出土唐天宝四載十一月交河郡財務案殘卷考釈」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 2-3.
36. [紹介]「程喜霖「《唐垂拱元年(685)康尾義羅施等請過所案卷》考釈」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 3-4.
37. [紹介]「孫曉林「關於唐前期西州設“館”的考察」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, p. 4.
38. [紹介]「王永興「誦吐魯番文書札記二則」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 4-5.
39. [紹介]「柳洪亮「高昌碑刻述略」『吐魯番出土文物研究会会報』90, 1993年7月, pp. 5-6.
40. 「北疆遺跡參觀報告」『内陸アジア史研究』9, 1993年9月, pp. 24-35.
41. 「トゥルファン漢文文書閲覽雜記」『内陸アジア史研究』9, 1993年9月, pp. 79-93.

## 1994

42. [翻訳]「Л=И=Чуугуйефスキー「ソ連邦科学アカデミー東洋学研究所所蔵、敦煌写本における官印と寺印」『吐魯番出土文物研究会会報』98/99, 1994年4月, pp. 1-14.
43. [紹介]「林梅村「粟特文買婢契与絲綢之路上的女奴貿易」『吐魯番出土文物研究会会報』100, 1994年5月, pp. 6-8.
44. [書評]「山田信夫著、小田壽典・P. ツィーメ・梅村坦・森安孝夫編『ウイグル文契約文書集成』I・II・III」『史学雑誌』103-8, 1994年8月, pp. 109-119.

## 1995

45. [学界動向]“Studies on Inner Asia I: The Pre-Mongol Period.” The National Committee of Japanese Historians (ed.), *Historical Studies in Japan (VIII) 1988-1992*, Tokyo: Yamakawa Shuppansha, 1995, pp. 167-173.

## 1996

46. 「中国主要遺跡ガイド(楼蘭故城・交河故城・高昌故城・アスターナ古墓群・タクラマカン沙漠の石窟寺院)」『しにか』7-1, 1996年1月, pp. 64-73.
47. 「ヤールホト古墓群の墓表・墓誌」長澤和俊(編)『中国新疆・トゥルファン地区の総合的調査』(平成6~8年度科学研究費補助金・国際学術研究中間報告書)東京、早稲田大学, 1996年8月, pp. 19-27.

## 1997

48. 「出土史料より見た高昌国の仏教」『季刊文化遺産』4, 1997年10月, pp. 55-58.

## 1998

49. 「トゥルフアン文書を読み解く——文書に見える冥界の姿——」『しにか』9-7, 1998年7月, pp. 58-63.
50. 「学界動向」『最近五年（1993～1998）日本の唐代学術研究概況——敦煌・吐魯番学——』『中国唐代学会会刊』9, 1998年11月, pp. 181-197.

## 2000

51. ＊荒川正晴／關尾史郎「トゥルフアン出土文書調査記」『唐代史研究』3, 2000年6月, pp. 59-74.

## 2001

52. 「学界動向」『近年の日本におけるトゥルフアン研究——漢語文献を中心にして——』『中央アジア研究』6, 2001年12月, pp. 65-89.

## 2002

53. 「大谷探検隊とその将来品, 第3部 研究最前線…衣物疏」『本願寺新報』2002年9月1日, 7面.

## 2003

54. 『トゥルフアン出土文書および関連伴出資料の調査』（平成12～14年度科学研究費補助金・基盤研究（B）（1）研究成果報告書）豊中, 大阪大学, 2003年3月, 197p.

## 2004

55. 「コートンの「木ぶり」と「根ばり」」『史滴』26, 2004年12月, p. 1.

## 2005

56. 「オアシス王国ホータン点描」NHK「新シルクロード」プロジェクト（編）『NHKスペシャル 新シルクロード 2 草原の道——風の民——・タクラマカン——西域のモナリザ——』東京, 日本放送出版協会, 2005年4月, pp. 208-223.

## 2006

57. 『東トルキスタン出土「胡漢文書」の総合調査』（平成15～17年度科学研究費補助

- 金・基盤研究 (B) 研究成果報告書) 豊中, 大阪大学, 2006 年 3 月, 122p.
58. 「調査の概略とコータン出土新出漢文文書」荒川正晴 (編) 『東トルキスタン出土「胡漢文書」の総合調査』(平成 15~17 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 研究成果報告書) 豊中, 大阪大学, 2006 年 3 月, pp. 1-29.

## 2007

59. “Oasis States and Caravan Trade in Central Asia during Pre-Islamic Times (c. 3-9C).” In: T. Katayama (ed.), *Course Records “History, Manners and Customs, and Interchange-Asia and Japan-” in the Osaka University Short-term Student Exchange Program (OUSSEP) 2006 Fall Semester*, Toyonaka: Osaka University, 2007/3, pp. 56-69.

## 2010

60. 「ソウル, シルクロード博物館参観記」『西北出土文献研究』8, 2010 年 5 月, pp. 95-100.
61. [書評] 「李全徳『《天聖令》所見唐代過所の申請と勘驗——以“副白”与“録白”為中心——』」『法史学研究会会報』14, 2010 年 3 月, pp. 116-117.
62. [書評] 「楊梅『唐宋宮廷藏水制度的沿襲と変革——以《天聖令・雜令》宋 12 条為中心——』」『法史学研究会会報』14, 2010 年 3 月, pp. 128-129.

## 2011

63. [紹介] 「曾布川寛・吉田豊編『ソグド人の美術と言語』」『京都民報』2011 年 7 月 31 日, 6 面.
64. “China’s View of the World.” In: Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORLD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp.59-67.
65. “Xuan-zhuang, Bian-ji and *Da-Tang Xi-yu-ji*.” In: Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORLD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp.151-152.
66. “Du You: The *Tongdian*.” In: Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORLD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp. 153-154.
67. “Seiki no Chizu: Map of China and Westward (8th Century).” Seija Jalagin, Susanna Tavera and Andrew Dilley (eds.), *World and Global History: Research and Teaching (CLIOHWORLD Reader; 7)*, Pisa: Pisa University Press, 2011/9, pp. 187-188.
68. 『東ユーラシア出土文献研究通信』1, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史料学の構築に向けて——」研究グループ, 2011 年 3 月, 103p.

## 2012

69. 『東ユーラシア出土文献研究通信』2, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史科学の構築に向けて——」 研究グループ, 2012年3月, 85p.
70. [学界動向] “Chinese Research on Sources Excavated from Turfan Archeological Sites.” *Asian Research Trends*, New series 7, Tokyo: The Toyo Bunko, 2012, pp. 19-40.

## 2013

71. 『東ユーラシア出土文献研究通信』3, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史科学の構築に向けて——」 研究グループ, 2013年3月, 114p.
72. 「インド・イラン起源の諸宗教と中国」『歴史と地理』664 (世界史の研究 235) 2013年5月, pp. 1-13, 1pl.
73. 『ユーラシア東部地域における公文書の史的展開——胡漢文書の相互関係を視野に入れて——』日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査——新たな歴史像と出土史科学の構築に向けて——」 研究グループ, 2013年9月, 156p.
74. 「ソグド商人と東西交易」岡本隆司 (編) 『中国経済史』名古屋, 名古屋大学出版会, 2013年11月, pp. 129-130.

## 2014

75. [Review] “*The Silk Road: A New History*. By Valerie Hansen. New York: Oxford University Press, USA, 2012.” In: *International Journal of Asian Studies* 11-1, Cambridge: Cambridge University Press, 2014/1, pp. 118-120.